

# 一三エース専修

専修大学ホームページ

https://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行  
発行所  
専修大学広報課  
☎101-8425  
東京都千代田区  
神田神保町3-8  
☎03-3265-5819(直)

## 主なニュース

- ② 政策科学シンポ「日本財政の行方」／法学研公開講座
- ③ 社会知性開発研究センター3機関が研究成果を報告
- ④ スポーツ研シンポ 北澤豪氏らサッカーの未来語る
- ⑤ 多摩区と連携「子ども商店街」6学生が出店に協力
- ⑥ 「大庭健名誉教授を追悼する」文・金子教授が寄稿
- ⑦ 「石巻専修大学」外井ゼミが東松島食育アプリを配信
- ⑧
- ⑨
- ⑩

## 「センディ」LINEスタンプ



## 出願受付スタート!

2019年  
1/4(金)~

- ★大学入試センター試験 利用前期入学試験
- ★スカラシップ・全国入学試験
- ★一般前期入学試験

出願締切日は入学試験制度により異なります。詳細はホームページでご確認ください。

https://www.senshu-u.ac.jp  
入学センターインフォメーション  
【神田キャンパス】TEL03・3265・6677  
【生田キャンパス】TEL044・911・0794

# 在学生・卒業生21人合格

## 公認会計士試験 2年次生は初

本年度の公認会計士試験で21人が合格した(11月27日現在)。試験結果が11月16日、公認会計士・監査審査会から発表され、専修大学からは在学学生・卒業生合わせて21人が合格した(11月27日現在)。在学生の内訳は、2年次生1人、3年次生6人、4年次生5人。記録は在学生の学部別では、経済学部の2人が合格した。卒業生は9人だった。在学生の学部別では、経済学部の2人が合格した。卒業生は9人だった。在学生の学部別では、経済学部の2人が合格した。卒業生は9人だった。

本年度の全体の合格者は1294人で合格率は昨年と同じ11.1%だった。本学は、公認会計士試験、司法試験、国家公務員採用総合職試験の合格者を12月10日、神田キャンパスで開催。日高義博理事長や佐々木重人学長、ゼミの指導教員らが、難関試験突破を祝福した。

公認会計士試験および国家公務員採用総合職試験の合格者の詳細と合格者の合格者の情報はニュース専修1月号に掲載します。また、公認会計士試験の合格者の情報をエクステンションセンター事務課(☎044・911・1268)までお寄せください。

# 記念式典 祝賀会 盛大に

1958年に発足した育友会(佐々木悟会長)の創立60周年記念式典と祝賀会が11月24日、東京都内で開催された。育友会歴代会長や本部役員をはじめ支部役員、校友・大学関係者ら約3000人が顔をそろえ、活動の道に思いをはせた。

その志を引き継ぎ、社会の課題に果敢に立ち向かう。また、2004年4月から15年間、育友会主任教授を務め、会の発展に貢献した庄菊博法学部教授に、学校法人専修大学

特別功労賞が贈られ、日高義博理事長が長年の功績に謝意を示した。60周年を記念して大学に寄贈する記念品の目録を佐々木会長が日高理事長に贈呈。生田キャンパス総合体育館にトレーニングマシンを、北グラウンド周辺通路に防犯灯を設置したほか、2020年完成の靖国通り神田新校舎(仮称)学生ラウンジにテーブル・椅子、世界時計を設置する。

歴代会長ら約300人出席

1989年度に育友会長を務めた松川正さんは千葉県松戸市から駆け付けた。「30年前、石巻専修大学の地鎮祭に行ってくわ入れたことが一番の思い出。東北の雄になれという熱い思いでした」と懐かしんだ。

祝賀会では、小宮多喜次校友会長が乾杯の発声。吹奏楽研究会の学生たちが演奏を披露した。参加者は全学応援団のリードで校歌を歌い、オール専修の心を一つにした。

歴代会長ら約300人出席

1989年度に育友会長を務めた松川正さんは千葉県松戸市から駆け付けた。「30年前、石巻専修大学の地鎮祭に行ってくわ入れたことが一番の思い出。東北の雄になれという熱い思いでした」と懐かしんだ。

祝賀会では、小宮多喜次校友会長が乾杯の発声。吹奏楽研究会の学生たちが演奏を披露した。参加者は全学応援団のリードで校歌を歌い、オール専修の心を一つにした。

歴代会長ら約300人出席

1989年度に育友会長を務めた松川正さんは千葉県松戸市から駆け付けた。「30年前、石巻専修大学の地鎮祭に行ってくわ入れたことが一番の思い出。東北の雄になれという熱い思いでした」と懐かしんだ。

祝賀会では、小宮多喜次校友会長が乾杯の発声。吹奏楽研究会の学生たちが演奏を披露した。参加者は全学応援団のリードで校歌を歌い、オール専修の心を一つにした。



歴代会長らによる鏡開きで60周年を祝った

## 育友会創立60周年

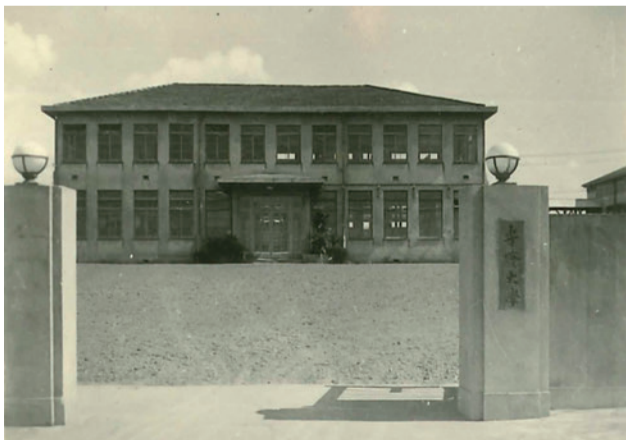


あいさつする佐々木会長



育友会創立60周年を記念し、オール専修で校歌を歌った

## 生田キャンパス70年の歩み



開設当時の生田キャンパス正門と校舎  
1950年卒業アルバムより

川崎市多摩区に専修大学生田キャンパスが開設され70周年を迎える。1948年10月、日本電気(NEC)生田研究所の土地と建物を購入。翌49年4月には生田キャンパスが開設され、新制大学として歩み始めた。

1980年、専修学校として開学した専修大学は、戦後の大学改革に当たって、神田キャンパスだけでは校地に余裕がなかった。日本電気の土地について他大学に先んじて交渉を成立させ、すぐに校舎改修に着手。1949年4月、商経学部と法学部で新制大学として発足した。当初、生田キャンパスの学生は700人余。その後、経営学部、文学部をはじめとする学部の増設で学生数は増加した。校舎新築や建て替えを重ね、キャンパスの姿は開設当時とは趣を変えた。しかし周囲の豊かな自然と学生たちのにぎやかな声は時を経ても変わらない。生田キャンパスでは現在、6学部の学生と大学院生約1万4000人が、学び、語らっている。



専修大学では生田キャンパス70周年を記念して11月、講演会と展示会を開催した。生田キャンパス開設前後の川崎市多摩区の歴史、小田急線開通による発展などを丹念に追った。(3面に記事)

現在の正門。2017年に完成した2・3号館も生田の顔として定着してきた